

# カキ生育情報

第 8 号  
千葉県農林水産部  
令和 2 年 1 2 月号

本年は収穫が早く、果実は小玉傾向でしたが、糖度は高くなりました。落葉後から発芽前までに整枝・せん定を実施しましょう。また、うどんこ病、落葉病の予防は、発芽前の3月中下旬、カイガラムシ類の多い園では、休眠期の12～2月がそれぞれ防除適期となります。

## 1 1年間の気象

令和元年12月から令和2年11月の月別気象を表1に示した。月平均気温は4月、7月、10月を除く全ての月で平年より高かった。1年間の平均気温は16.6℃で、平年より1.0℃、前年より0.3℃高かった。

降水量は生育期の7月が平年より著しく多く、8月が著しく少なかった。1年間の合計は2,061mmで、平年の101%、前年の79%であった。

日照時間は生育期の7月が平年より著しく少なく、8月が著しく多かった。1年間の合計は1,921時間で、平年の99%、前年の96%であった。

表1 令和元年12月～令和2年11月の気象 (暖地園芸研究所)

年 月	気 温(℃)			降 水 量(mm)			日 照 時 間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
R元 12	9.8	8.6	9.3	192	85	120	129	165	121
R2 1	8.0	6.0	6.6	204	90	24	206	170	206
2	9.0	6.3	7.8	51	97	89	102	152	102
3	11.1	9.2	10.7	244	186	112	170	157	180
4	13.3	13.9	13.1	199	174	214	191	172	199
5	18.9	17.8	18.5	105	174	158	186	177	235
6	22.4	20.7	20.9	207	244	299	140	133	157
7	23.9	24.4	23.5	405	194	291	76	169	105
8	27.2	26.0	27.1	16	145	72	303	217	229
9	23.9	22.7	24.4	161	251	321	137	145	191
10	17.4	17.9	19.7	244	250	662	122	137	119
11	14.8	13.2	13.7	33	148	252	159	145	161
平均/計	16.6	15.6	16.3	2,061	2,038	2,614	1,921	1,939	2,005

## 2 12～5月の作業

### 1) 整枝・せん定

整枝、せん定は落葉後から発芽前までに、凍害の危険性のある場所は厳寒期を過ぎたら実施する。結果母枝の充実度を確認したうえで、結果過多にならないように留意し、間引きせん定を中心に行い、切返しせん定による枝の更新も行う。特に不必要な徒長枝及び軟弱枝はすべて取り除き、病虫害多発園では密集した枝を風通しのよくなるように適宜間引く。

### 2) 摘 蕾

開花10日前～開花直前(5月上中旬頃)に行う。摘蕾は樹体の消耗を抑え、大果及び高品質果生産と隔年結果防止の効果がある。着蕾量が少ない場合は、小花、奇形花は落とすが、着蕾量を確認しながら過度に行わないようにする。着蕾量が多い場合は、充実した花蕾を1結果枝に1蕾残すように摘蕾する。

### 3) 病虫害防除

落葉の処分と粗皮削りは、病虫害の越冬源を絶つために防除効果が高い。うどんこ病、落葉病、黒星病の予防は、発芽前の3月中下旬が、カイガラムシ類の多い園では、休眠期の12～2月がそれぞれ防除適期となる。また、展葉期の4月下旬は、うどんこ病、ハマキムシ類、フジコナカイガラムシ及びチャノキイロアザミウマの防除適期である。防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

### 3 本年度産果実の特徴

本年産のカキの生育状況を振り返ると、3月の気温が高かったため、発芽期は平年より早く、5月の気温も平年より高かったため、開花期は平年より早かった。梅雨明けが8月1日で平年より11日遅かったが、7月に降水量が多かったため、果実の肥大は進んだ。9～10月は天候不順の日が多く、収穫果は平年より小さかった。生理落果は平年並みで、炭疽病、汚損果の発生が多かったが、カメムシ類の発生は少なかった。

#### 1) 収穫期

暖地園芸研究所（以下暖地園研）における収穫期を表2に示した。収穫始期、盛期及び終期はそれぞれ、「西村早生」が9月16日、24日、10月7日、「松本早生富有」が10月12日、26日、11月5日、「富有」が10月17日、29日、11月5日であった。始期は平年より「西村早生」及び「富有」がそれぞれ2日、5日早かったが、「松本早生富有」は1日遅かった。盛期は平年より「西村早生」及び「富有」がそれぞれ4日、9日早かったが、「松本早生富有」は3日遅かった。終期は「西村早生」が平年と同じ、「松本早生富有」及び「富有」はそれぞれ1日、12日早かった。

市原市の「松本早生富有」の収穫始期、盛期及び終期は、それぞれ10月9日、24日、11月4日で、前前年より始期は2日遅く、盛期及び終期はそれぞれ10日、13日早かった。

表2 収穫期（月/日）（暖地園芸研究所）

半旬	収穫始期			収穫盛期			収穫終期		
	本年	平年	前前年	本年	平年	前前年	本年	平年	前前年
西村早生	9/16	9/18	9/11	9/24	9/28	9/20	10/7	10/7	10/2
松本早生富有	10/12	10/11	10/4	10/26	10/23	10/21	11/5	11/6	11/9
富有	10/17	10/22	10/13	10/29	11/7	11/10	11/5	11/17	11/20

平年：1997～2018年の平均

#### 2) 果実の品質

収穫果実の大きさ、糖度、へたすき及び汚損果程度を表3に示した。1果平均重は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ163g、210g、「富有」が231gで、それぞれ平年の82%、91%、91%、前前年の82%、93%、83%であった。糖度は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ14.7、16.3、「富有」が16.4で、「西村早生」は平年及び前前年と同じであった。「松本早生富有」及び「富有」は平年よりそれぞれ0.7、1.0高かったが、前前年よりそれぞれ0.2、0.3低かった。へたすきの発生は「西村早生」が前前年より多かったが、「松本早生富有」及び「富有」は前前年と同程度であった。汚損果程度はいずれの品種も前前年より多かった。

表3 果実の大きさ及び品質

品 種	調査地	1果平均重(g)			糖度(Brix)			へたすき		汚損果程度	
		本年	平年	前前年	本年	平年	前前年	本年	前前年	本年	前前年
西村早生	いすみ市	156	197	186	13.7	14.5	14.6	—	—	—	—
	暖地園研	169	200	210	15.6	14.8	14.7	微	無	中	少
	平均	163	199	198	14.7	14.7	14.7	—	—	—	—
松本早生富有	市原市	182	214	189	16.3	16.0	16.8	—	—	—	—
	暖地園研	238	248	260	16.3	15.1	16.2	微	微	中	少
	平均	210	231	225	16.3	15.6	16.5	—	—	—	—
富有	暖地園研	231	254	277	16.4	15.4	16.7	微	微	中	少

へたすき：無、微、小、大、汚損果程度：無、少、中、多

平年：暖地園研は1990年～2019年の平均、いすみ市は1998年～2018年、市原市は1999年～2018年の平均

前前年：前年は9月の台風により果実がほとんど落果してしまったため、前前年値を記載

#### 3) 病虫害の発生

暖地園研では、炭疽病の発生が平年より多くみられ、樹上軟化する果実も多かった。果樹カメムシ類の発生は少なく、被害果も少なかった。市原市ではカイガラムシの発生が多かった。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【生育情報の問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。